

BLACK COUNTRY CUSTOMS™

HANDCRAFTED IN THE UK



IN COLLABORATION
WITH

Tom Quayle
TOM QUAYLE

LIONHEART-LOUDPEDAL USER MANUAL

Laney™

DESIGNED, ENGINEERED & MADE IN THE U.K.

コンテンツ

導入.....	2
特徴.....	2
箱に含まれるもの.....	3
コントロール.....	4
上面図.....	4
リアビュー.....	6
右側面図.....	8
左側面図.....	8
底面図.....	9
BCC-LOUDPEDAL-LTQの接続方法.....	10
ミディ.....	14
LA・IRアプリ.....	15
ダウンロードとインストール.....	15
アプリの使い方.....	17
設定例.....	20
仕様.....	22
寸法 (mm).....	23
安全のための警告.....	24



導入

英国で製造され、長年 Laney アーティストとして活躍する Tom Quayle と共同開発された LIONHEART-LOUDPEDAL は、定評のある LIONHEART オールチューブの音域を再現する機能セットを備えた柔軟なペダルボード セットアップのトーン エンジンとして設計されており、さらに LIONHEART 以外の機能である BOOST 機能も追加されています。

本物の LIONHEART トーンをアナログのペダル アンプ フォーマットで実現するために、細心の注意を払って設計されています。LIONHEART LOUDPEDAL は、強力な EQ スイッチング、素晴らしいリバーブ、そして LIONHEART 史上初の BOOST を搭載した 2 チャンネルの 60 ワット アンプです。設計を継続的にテストしてきた Tom と協力することで、ダブル ペダルほどの大きさしかないペダルボード対応の形で、驚くほど明瞭で豊かな LIONHEART トーンを実現できました。

LIONHEART-LOUDPEDAL は、ポータブル ペダルに備わった完全なリグ ソリューションです。巧妙な設計により、さまざまなワークフローで使用できます。LIONHEART-LOUDPEDAL を既存のアンプの前に置いて、高品質のツイン チャンネル クリーン ブーストからフル ディストーション ペダルとして使用したり、ステージ上やリハーサル ルームのパッシブ キャビネットに直接接続したりできます。

静かなステージやレコーディングの用途では、LIONHEART-LOUDPEDAL には驚異的な LA-IR (Laney Advance Impulse Response) テクノロジーが搭載されており、56 ビット FIR フィルターを使用して高品質のキャビネット エミュレーションを提供します。これにより、2 つのオンボード IR から選択し、必要に応じて EQ し、PA または IEM リグに直接接続して、優れたマイク付きキャビネットのニュアンスと特徴を失うことなく使用できます。無料の LA-IR アプリを使用して、USB-C 接続経由でお気に入りの IR を LIONHEART-LOUDPEDAL ペダルにロードすることもできます。USB-C 接続にはオーディオ出力も備わっているため、DAW に直接接続できます。

LIONHEART-LOUDPEDAL は、どこにいてもスタジオグレードのトーンを得られる究極の持ち運び可能なギター ソリューションを提供します。他のペダルと一緒にギグ バッグに入れておけば準備完了です。

LIONHEART-LOUDPEDAL は、床に置く本物の LIONHEART アンプです。

特徴

- Ωに 60W RMS アンプ。
- LIONHEART チューブシリーズのトーンと感触を再現するためにゼロから設計された、フットスイッチ コントロールを備えた 2 つの独立したチャンネル。
- チャンネル 1 と 2 にはそれぞれゲイン、ボリューム、および切り替え可能な明るい音、暗い音、自然な音色があります。
- フットスイッチ対応プリブーストを内蔵。
- 3 バンド パッシブ トーン スタックと全体的なトーン コントロール。



- 切り替え可能なコントロール付きデジタルリバーブ。
- Tom Quayle が手作りした 2 つの高品質 LA·IR デジタル IR がプリロードされています。
- IR 選択およびグランドリフトスイッチを備えたエミュレートされたバランス XLR 出力。
- USB C ソケット経由のクラス準拠オーディオストリーミング (48kHz、エミュレートおよび非エミュレートのメイン出力ツインストリーム)。
- LA·IR アプリを使用すると、独自のカスタム IR の読み込み、EQ の変更、ファームウェアの更新が可能になります。
- フルサイズの MIDI コネクタを備えた MIDI In および Thru。
- 6.3mm トランスフォーマー絶縁 FX ループ (FX 送信はエミュレートされていないライン出力としても機能します)。
- 3.5mm ステレオ Aux 入力と 3.5mm ステレオ ヘッドフォン出力 (キャビネット エミュレーションに準拠)。

箱に含まれるもの

- BCC-ラウドペダル-LTQ。
- ユニバーサル 100-240V 電源と電源コード。
- USB C-C ケーブル (1m)。
- USB A-C アダプター。



コントロール

上面図



BCC-LOUDPEDAL-LTQ はデュアル チャンネル セットアップを採用しているため、フットスイッチまたは MIDI を介して 2 つの トーン セットを簡単に切り替えることができます。各チャンネルには独自のゲイン、ボリューム、トーン設定があり、ブーストとリバーブもフットスイッチまたは MIDI を介して切り替えることができます。

チャンネル1の設定

- **ボリューム**コントロール。ゲインを設定したら、これを使用してチャンネルの全体的なレベルを制御します。0 でチャンネルはミュートされます。
- **GAIN**コントロールは、チャンネル 1 のプリアンプゲインを独立して増加します。信号にさらに歪みを加えます。
- **TONE** スイッチを使用すると、チャンネル 1 の周波数応答を制御できます。
 - **BRIGHT** - 高域を拡張し、低域をわずかに鈍らせます。
 - **DARK** - 低域の周波数をブーストして音色に暖かさを加えながら、高域のパワーを抑えます。
 - **OFF** - 中間設定では変化なし

チャンネル2の設定

- **ボリューム**コントロール。ゲインを設定したら、これを使用してチャンネルの全体的なレベルを制御します。0 でチャンネルはミュートされます。
- **GAIN**コントロールは、チャンネル 2 のプリアンプゲインを独立して増加します。信号にさらに歪みを加えます。
- **TONE** スイッチを使用すると、チャンネル 2 の周波数応答を制御できます。
 - **BRIGHT** - 高域を拡張し、低域をわずかに鈍らせます。



- **DARK** - 低域の周波数をブーストして音色に暖かさを加えながら、高域のパワーを抑えます。
- **OFF** - 中間設定では変化なし

ブーストコントロール

切り替え可能で可変の BOOST コントロールは、信号パスにブースト ペダルを配置するのと同じように、入力信号を増やすための追加のゲイン/ドライブ設定です。これは両方のチャンネルで同時に機能し、コントロール ノブの上にある LED がアクティブであることを示します。

トーン

TONE コントロールは、ギターに搭載されているトーン コントロールと似た働きをしますが、アンプ チェーンの反対側で独自に機能します。全体的なトップエンドのレスポンスをコントロールできるだけでなく、出力段の高域の倍音やプリアンプのオーバードライブ サウンドを減らすこともできます。これにより、高い設定では明るいカッティング サウンドが得られ、低い設定では滑らかで丸みのあるサウンドが得られます (中間 (0) が適切な開始点です)。

リバーブ

受賞歴のある Secret Path ペダルをベースにした、スタジオ品質のスプリング ライン リバーブ エフェクトを内蔵しています。ノブを時計回りに回すと、エフェクトの強さが増します。リバーブがアクティブになると、隣の LED が点灯します。0 では、ドライ信号のみが聞こえます。

EQコントロール

内蔵のパッシブ EQ スタックにより、サウンドを微調整できます。開始点として、12 時がニュートラル設定であり、さらに微調整するための適切な開始点となります。

- **BASS** - 出力の低域応答の強さを調整します。時計回りに回すと、より深いサウンドになります。
- **MIDDLE** - 出力の中音域レスポンスの強さを調整します。時計回りに回すと、より豊かなサウンドが得られます。
- **TREBLE** - 出力の最高音域のレスポンスの強さを調整します。時計回りに回すと、より明るく高い音が強調されます。

フットスイッチ

- **REVERB** - リバーブ コントロールのオン/オフを切り替えます。リバーブの状態は、リバーブ コントロール ノブの右上にある LED で示されます。
- **チャンネル 1/2** - このスイッチを使用して 2 つのチャンネルを選択します。アクティブなチャンネルは、Gain1/2 コントロールの右側にある LED で示されます。
- **BOOST** - ブーストのオン/オフを切り替えます。ブーストの状態は、ブースト コントロール ノブの右上にある LED で示されます。



リアビュー



力

電源入力とスイッチ。このスイッチでペダルのオン/オフを切り替えます。電源を接続するときは、ペダルをオフにすることをお勧めします。BCC-LOUDPEDAL-LTQには、100～240Vで動作する電源が付属しています。

警告: 付属の24V 2.5A電源のみをDC入力に接続してください。

USB

付属のType-C USBケーブルを使用してコンピューターに接続し、**LA·IR アプリにアクセスして**ペダルのEQ、ゲイン、IRを変更します。エミュレートされたオーディオとエミュレートされていないオーディオの両方のL/Rチャンネルオーディオ出力としても機能します。

ヘッドホン出力

3.5mmジャックにヘッドフォンを接続すると、LOUDSPEAKER出力へのレベルフィードがミュートされ、静かに練習できます。選択したトーンはヘッドフォンから直接再生されます。チャンネルボリュームコントロールを使用してレベルを調整します。キャビネットエミュレーションは、スイッチの設定に応じてヘッドホン出力にも適用されます。

補助入力

3.5mmジャックにオーディオ再生デバイスを接続して、ギタートラックにバックアップミックスを追加します。これはFXループの後に追加されます。

LA·IR エミュレート DI 出力

PAやオーディオインターフェイスなどの外部デバイスへのバランスXLR出力。まずペダルで希望のトーンを設定し、次に選択したインターフェイスでパラメータを設定して希望のサウンドを実現します。LA·IRスイッチで適用するエミュレーションを決定し、Tom Quayle自身がキャプチャして制作した2つのIRから選択します。

- **OFF** - DI出力またはヘッドフォンにエミュレーションは適用されません
- **A** - デフォルトでは、Tom QuayleのL20T-212 Vintage 30 IRをDI出力に適用します。これは、LA·IRデスクトップアプリを使用して入れ替えることができます。詳細については、[「アプリの使用」](#)を参照してください。



- **B** - デフォルトでは、Tom Quayle のLT112 G12H IR を DI 出力に適用します。これは、LA・IR デスクトップアプリを使用して入れ替えることができます。詳細については、[「アプリの使用」](#)を参照してください。
- **GROUND LINK** - DI 出力のピン 1 からのみグラウンドを切断します。接続時にグラウンド ループ ハムを減らすのに役立ちます。

ミディ

MIDI フット コントローラーに接続すると、BCC-LOUDPEDAL-LTQ の MIDI IN ソケットを使用して REVERB、CHANNEL Select、BOOST をリモートで切り替えたり、MIDI THRU/OUT ソケットを使用して REVERB、CHANNEL、BOOST フットスイッチで外部デバイスを切り替えたりすることができます。

DRAFT



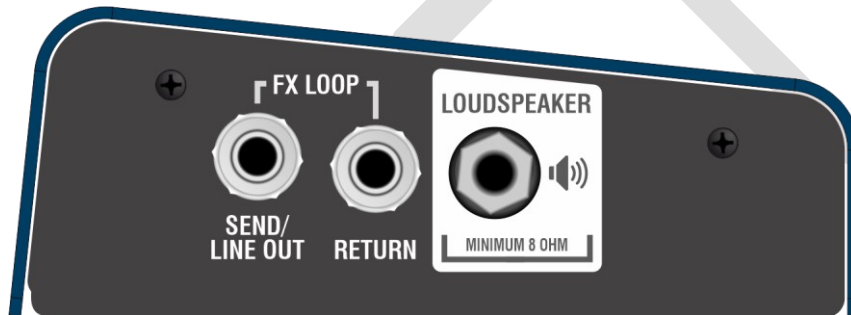
右側面図



入力

6.3mm 入力ジャック。ギターから直接、またはペダルボード セットアップからの信号入力をここに接続します。

左側面図



FX SEND / LINE OUT (トランスアイソレート)

6.3mm 出力ジャック。これは多目的出力で、ラインレベル出力としても、他の機器への従来のエフェクト送信としても使用できます。トランス絶縁型なので、この出力を別のアンプのフロントエンドに直接接続して、BCC-LOUDPEDAL-LTQ をスピーカー出力を使わずに高品質のディストーション/ブーストペダルとして効果的に使用することもできます。

FXリターン

FX ループ ギアの出力を BCC-LOUDPEDAL-LTQ に接続するための 6.3mm ジャック。これは挿入型ループであり、すべての信号は外部ギアを介して送信されます。ここにジャックを挿入すると、信号パスが切断されます。

スピーカー

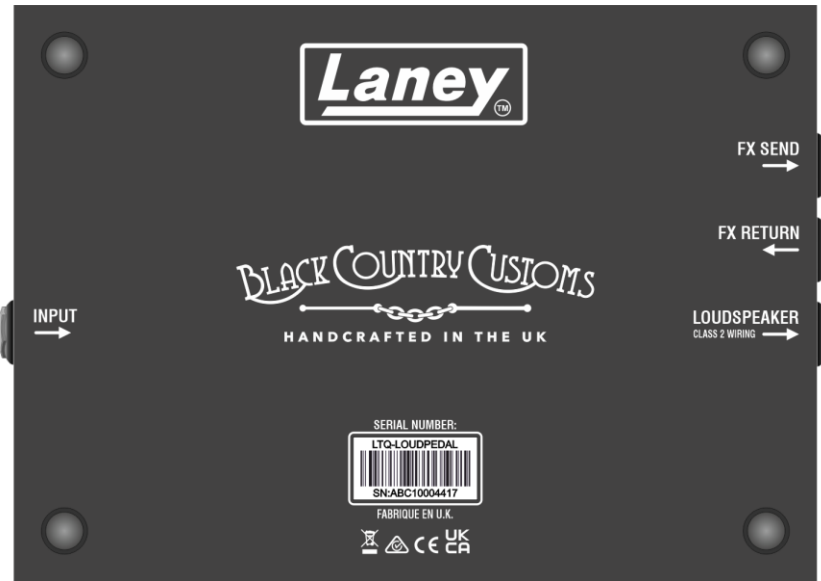
6.3mm ジャックから信号をスピーカー キャビネットに出力します。BCC-LOUDPEDAL-LTQ をアンプとして使用し、パッシブ 8-16 Ωスピーカー キャビネットに直接入力する場合は、この出力を使用します。この出力をエフェクト ユニットや他のアンプ入力などの他の機器に接続しないでください。

注意: 接続されたスピーカーキャビネットの最小合計インピーダンスは8Ωです。



底面図

製品のシリアル番号とその他の情報がここに添付されています。



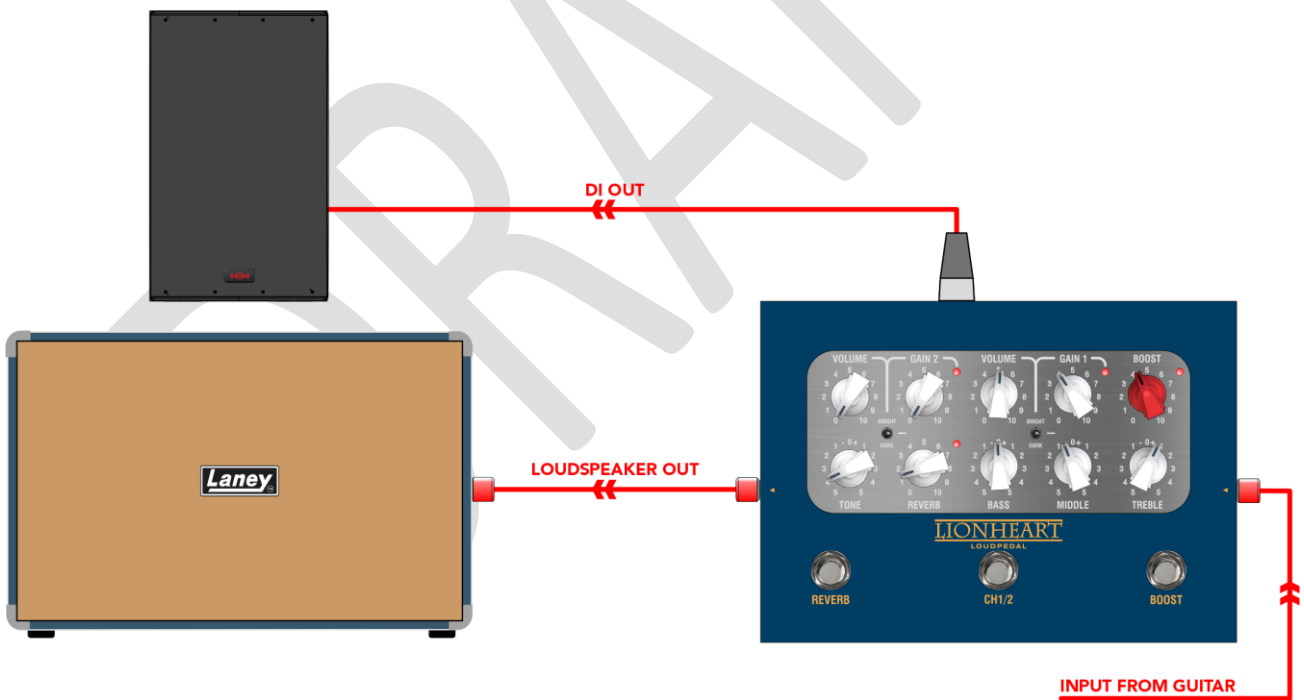
BCC-LOUDPEDAL-LTQの接続方法

伝統的なギターアンプをキャビネットに

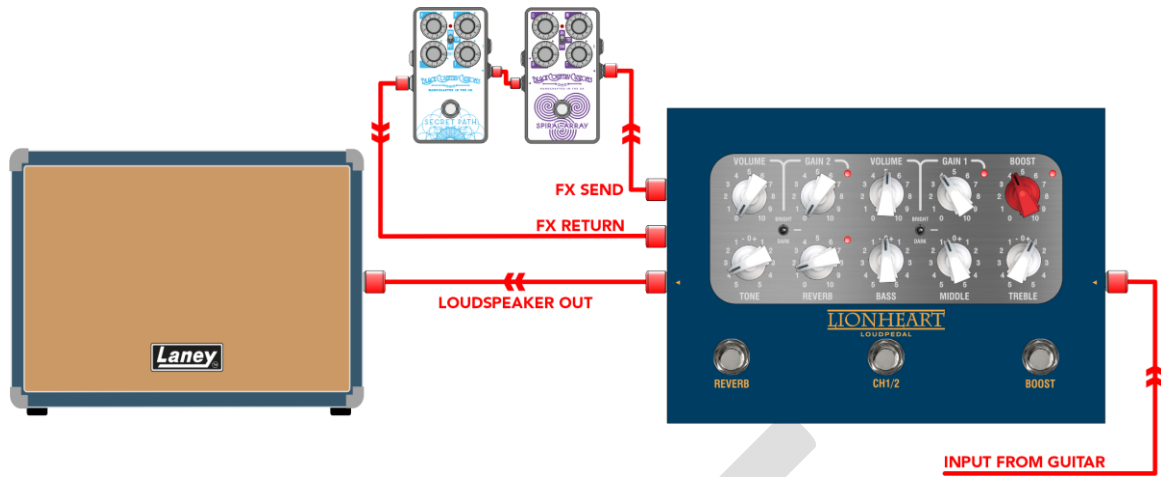


BCC-LOUDPEDAL-LTQ は、パッシブスピーカー キャビネットに直接接続することで、通常のヘッドと同じように機能します。音量は大きいです。

DI は、当社の優れた LFR シリーズなどの追加のアクティブ キャビネットのバランス フィードとして使用できます。

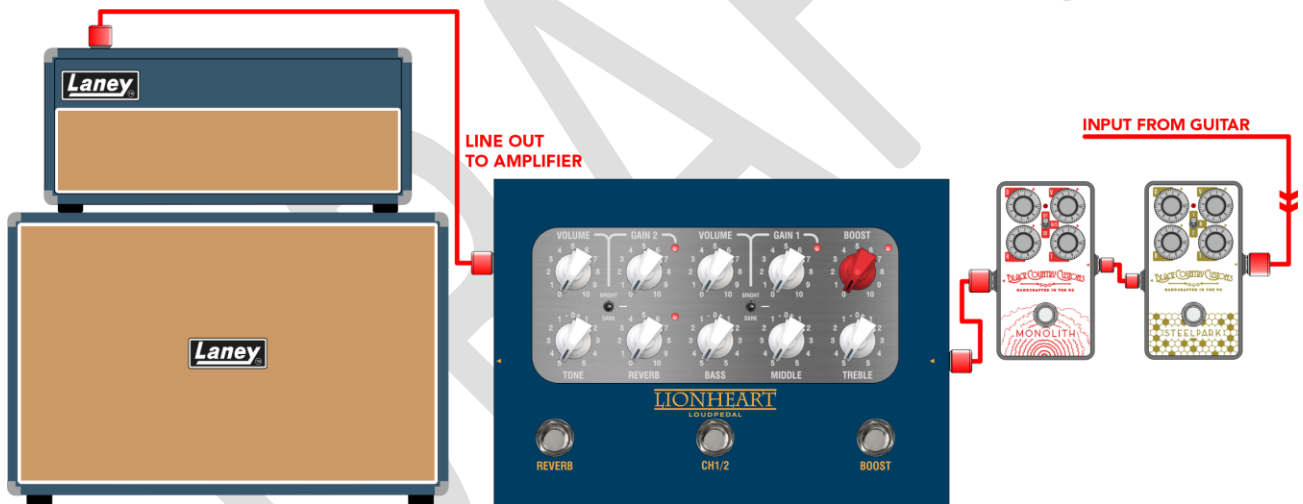


FXループ付きアンプとして



ペダルボードを BCCLOUDPEDAL-LTQ の FX ループに接続し、通常のアンプの代わりにペダルを使用することもできます。これを最低 8Ω のパッシブスピーカー キャビネットに出力すれば、軽量でポータブルなアンプが完成します。

アンプの前のペダルとして



BCCLOUDPEDAL-LTQ を通常のペダルセットアップに直列に接続して、追加のブーストを備えたデュアルチャンネルゲインペダルとして動作させることができます。FX 送信ソケットをアンプヘッドに接続します。



ヘッドフォン出力を使用したサイレント練習装置として

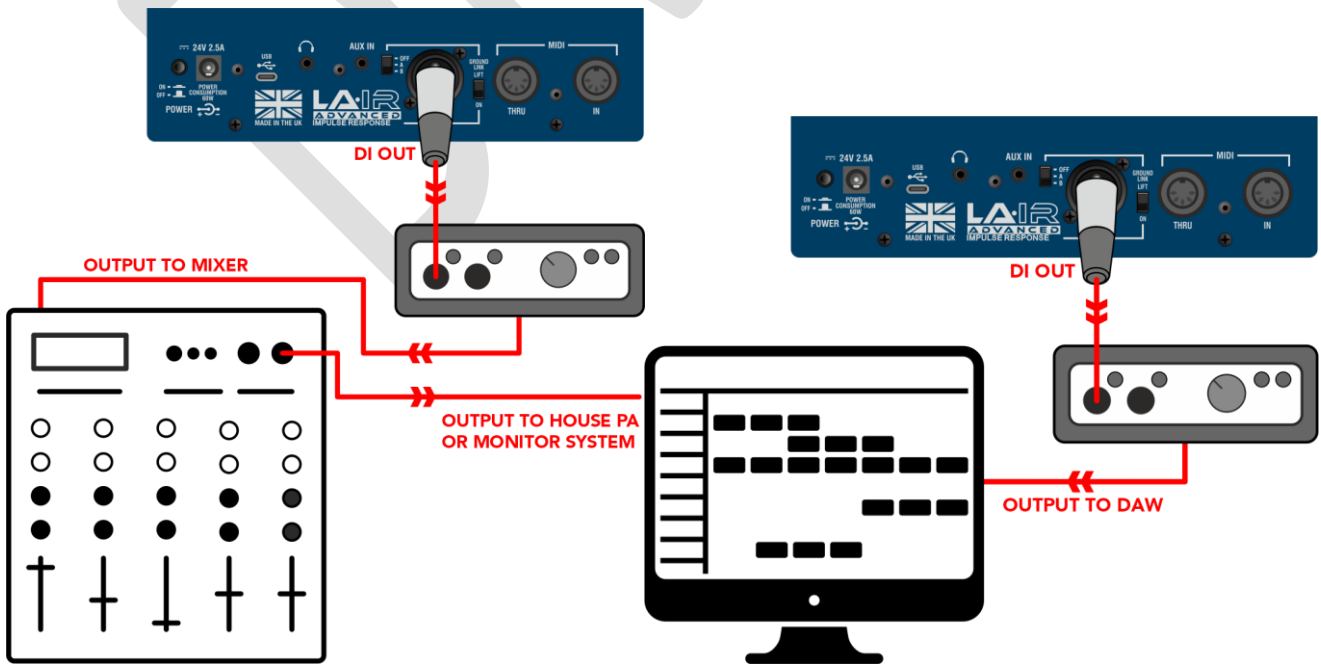
BCC-LOUDPEDAL-LTQには、静かな練習のための高品質のヘッドフォン出力が搭載されています。一般的な33Ωなどの高インピーダンスのヘッドフォンに最適化されていますが、どのヘッドフォンでも使用できます。

バックトラックに合わせて演奏できるように、BCC-LOUDPEDAL-LTQにはAUX入力接続が付属しています。これは、AUXまたはヘッドフォン出力を備えたあらゆるデバイスのオーディオ出力に接続するためのステレオ3.5mmミニジャックです。



XLR DI出力でPAや録音機器に直接接続

BCC-LOUDPEDAL-LTQには、PAやDAWへのオーディオインターフェイスなど、あらゆるバランス/アンバランスラインレベル入力デバイスに接続できる高品質のスピーカーエミュレートDI出力があります。



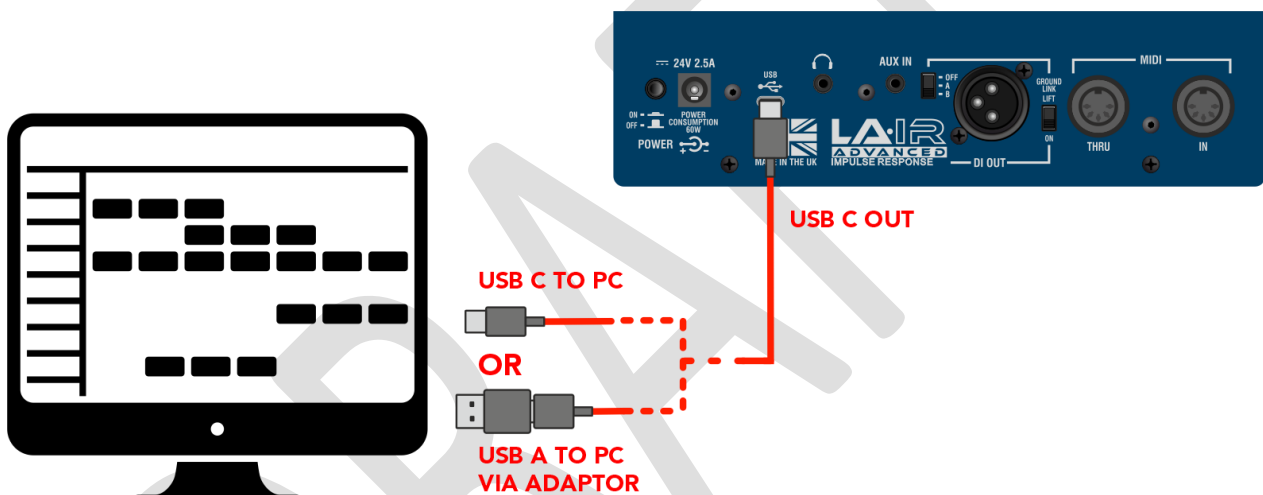
USB経由で直接コンピュータに

BCC-LOUDPEDAL-LTQには高品質のUSB オーディオ フィードがあり、付属の USB-C ケーブル (USB-A アダプターも付属) を使用してコンピュータに直接接続できます。

ペダルの電源がオンになり、接続されると、PC にペダルが接続されたことを示すポップアップが表示され、デバイスの準備が整うと通知されます。

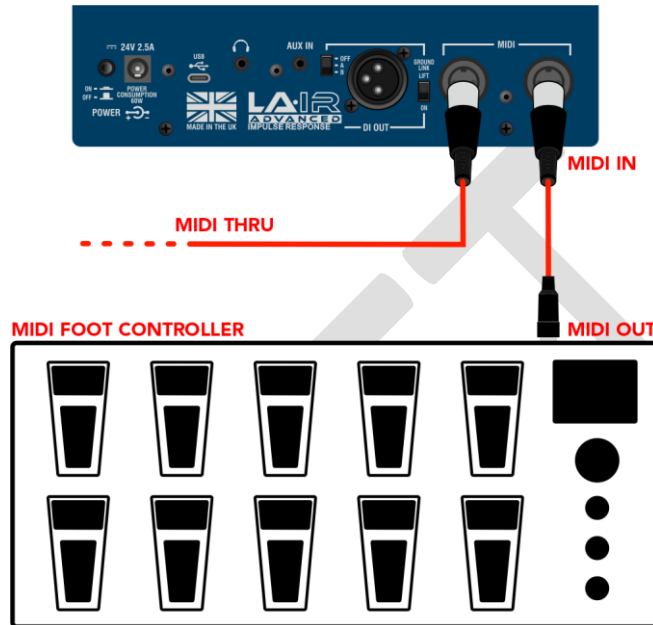
LA·IRアプリをインストールすると、ペダルを自由に使用できるようになります。ペダルを接続した状態でアプリを起動するだけで準備完了です。[LA·IRアプリをご覧ください。](#) セクション 詳細については。

さらに、デュアル チャンネル USB オーディオがあります。左チャンネルは、LA·IR エミュレーション スイッチの設定に従って、エミュレートされたオーディオを提供します。右チャンネルは、内蔵のキャビネット エミュレーションをバイパスして、エミュレートされていないオーディオを提供します。



ミディ

MIDI フット コントローラーに接続して、BCC-LOUDPEDAL-LTQ の MIDI IN ソケットを使用して REVERB、CHANNEL Select、BOOST をリモートで切り替えたり、MIDI THRU/OUT ソケットを使用して REVERB、CHANNEL、BOOST フットスイッチで外部デバイスを切り替えたりすることができます。BCC-LOUDPEDAL-LTQ は CH7 で MIDI メッセージを受信します。外部 MIDI フット コントローラーが CH7 で MIDI メッセージを送信するように設定されていることを確認してください。



MIDI メッセージ テーブル

CC	関数
1	チャンネル切り替え
2	ブーストトグル
3	リバーブ切り替え



LA・IRアプリ

BCC LOUDPEDAL-LTQ を購入すると、Laney 独自の LA・IR アプリにもアクセスできます。このアプリを使用すると、ロードされた IR を独自の IR に切り替えて LOUDPEDAL-LTQ のサウンドをさらに拡張できるほか、各キャブに 8 バンドのパラメトリック EQ を提供できます。

これらはすべて練習中に即座に実行できるため、練習しながら音の変化を聴くことができます。

このアプリは**Windows 10/11**および**Mac OS**で動作します。

ダウンロードとインストール

[Laney 保証ページ](#)から製品を登録してください。登録を送信すると、インストーラー (MAC または WINDOWS) のダウンロードリンクが提供されます。

ソフトウェアをダウンロードするためのリンク あなたのメールにも転送されます。

ウィンドウズ

ダウンロードしたら、*Setup-LAIR_x64.exe* を実行します。ファイル エクスプローラーのダウンロードフォルダーにあります。インストーラーの指示に従って、EULA に同意し、インストールに適した場所を選択し、[インストール] を押して完了します。

マック

.dmg ファイルをダウンロードしたら、これをアプリケーション フォルダにドラッグしてインストールを完了します。今後はこのフォルダの場所から LA・IR アプリを起動します。

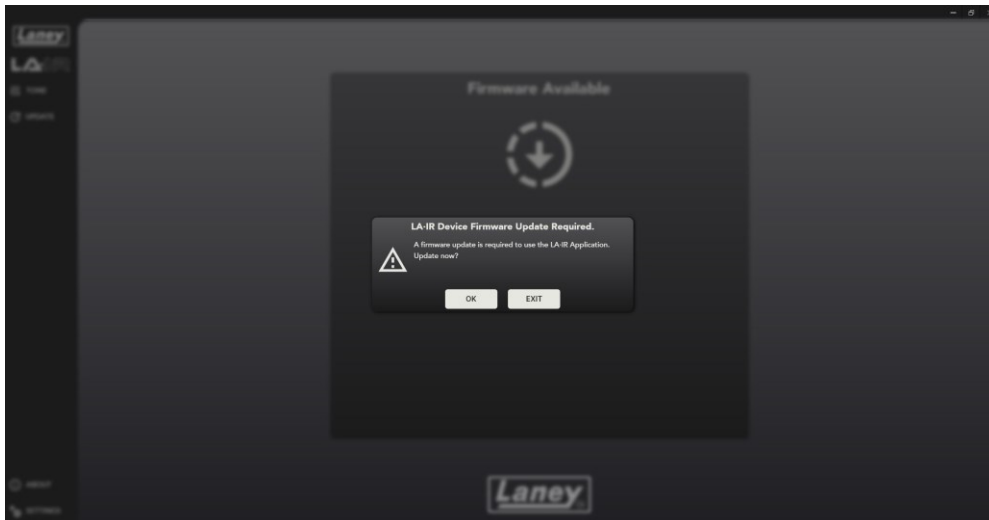
LA・IR アップデート

新しいバージョンがリリースされた場合、アプリの起動時に自動的に更新を求められます。更新には新しい機能やバグ修正が含まれる可能性があるため、更新を受け入れることをお勧めします。

ファームウェアアップデート

同様に、BCC-LOUDPEDAL-LTQ を接続して電源を入れると、ペダルのファームウェア アップデートが利用可能になった場合に通知されます。繰り返しになりますが、ユーザー エクスペリエンスを向上させるために、アップデートがある場合はすべて許可することをお勧めします。





マイナーアップデートはポップアップとして表示されない場合がありますので、アップデートパネルを定期的にチェックして、アップデートにアクセスできるようにしてください。

DRAFT



アプリの使い方

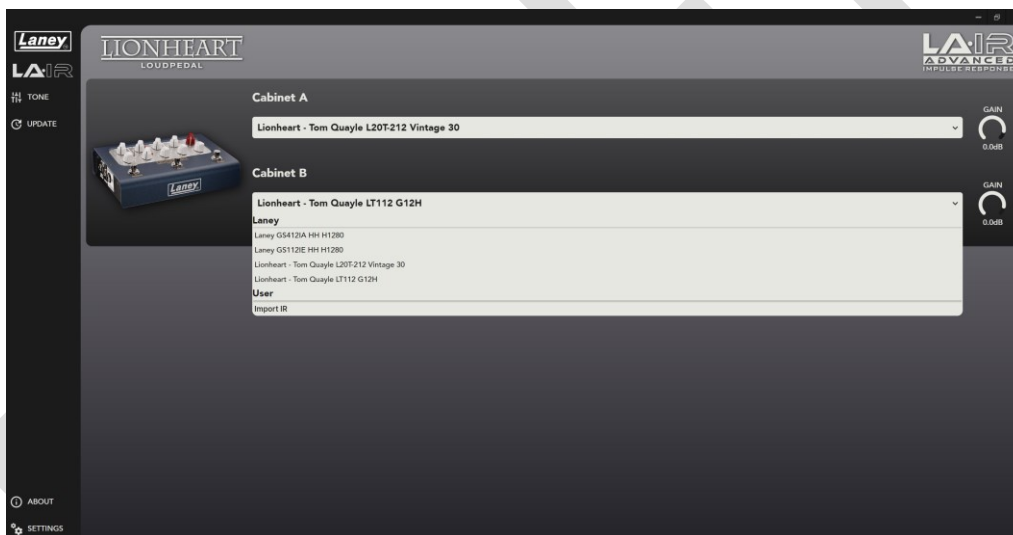
LOUDPEDAL-LTQの接続

BCC-LOUDPEDAL-LTQ の接続は、ペダルに同梱されている USB-C ケーブルで行えます。ケーブルの一方の端をペダルの USB-C ソケットに差し込み、もう一方の端をアプリをダウンロードしたコンピューターに差し込みます。

USB-C または A ソケットを備えたコンピューターに接続できます。付属の USB A から C へのアダプターを使用するだけです。

IRの変更

ペダルにプリロードされた2つのIRのほかに、アプリを使用してこれらを独自のIRと交換することができます。独自のユーザーIRをロードするには、キャブA/Bの下のドロップダウンボックスをクリックし、「Import IR」を選択します。.wavのみファイルは使用できます。アプリはIRをペダルが使用できる.Lairファイル形式に変換します。心配しないでください。元の.wavファイルは削除されません。Laney独自の1x12キャブと4x12キャブIRの2つもアプリに含まれています。



ユーザー IR の名前を編集したり、ペダルやアプリから削除したりすることができます。これを行うには、「ユーザー」セクションの任意の IR を右クリックし、「編集」または「削除」を押します。デフォルトのシステム IR は削除できません。

警告: ユーザー IR を削除すると元に戻すことはできません。IR を復元する唯一の方法は、元の.wav ファイルを再インポートすることです。

ゲインの変更

各キャブ IR のゲインは、音量が大きすぎる/小さすぎる場合は、右側のラジアルコントロールを使用して個別に変更することもできます。このゲインは IR の .Lair ファイルに保存されるため、アプリなしでペダルを使用する場合でもそのまま残ります。

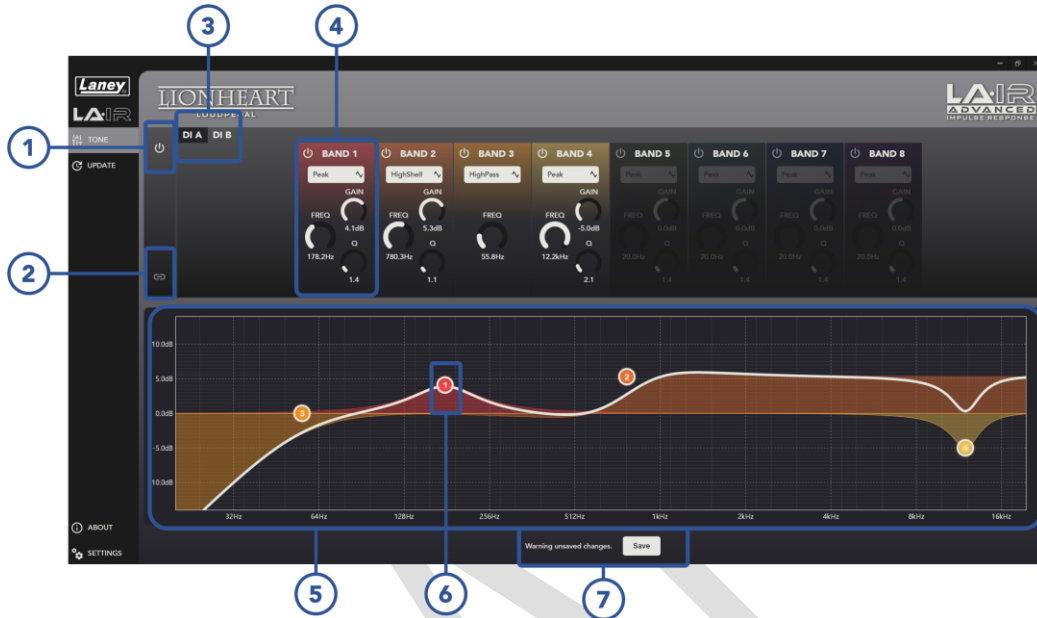
スライダーをドラッグするか、マウスのスクロールホイールを使用するか、ダブルクリックして必要なゲイン (dB 単位) を手動で入力します。範囲は -40dB から +6dB です。



EQの変更

LA-IR アプリには、各キャブ用の 8 バンド パラメトリック EQ も付属しています。5 種類のフィルターが用意されており、使いやすいコントロールと組み合わせることで、適用されたフィルターに応じてゲイン、周波数、Q 係数を変更できます。

警告: 保存せずにアプリを閉じるか切断すると、EQ の変更は永久に失われます。



1. EQ トグル

ペダル全体 (Cab A と B) の EQ をオン/オフにすると、ドライ/ウェットのテストに役立ちます。

2. A+B リンク

Cab A と Cab B の EQ を同じになるようにリンクします。これを押すと、Cab A の EQ に従います。リンクを解除すると、Cab B は以前の状態に戻ります。

3. DI キャブ セレクト

EQ を編集するキャビネットを選択します。選択したキャビネットは黒で強調表示されます。

4. バンドコントロール

各バンドの主なコントロールはここにあります。バンドのオン/オフを切り替え、ドロップダウンメニューからバンドに適用するフィルターを変更します。ピーキング、ハイ/ローパス、ハイ/ローシェルフから選択します。

さらに、フィルターのゲイン、中心周波数、Q 係数を変更するために、3 つの放射状スライダーが用意されています。各スライダーの値は、ドラッグするか、マウスのスクロールホイールを使用するか、数字をダブルクリックして手動で希望の値を入力することで変更できます。選択したフィルターに応じて、これらのコントロールが 1 つまたは複数使用可能になります。

5. 周波数応答グラフ



このグラフには、すべての EQ バンドの最終的な周波数応答が表示されます。変更をリアルタイムで表示して、サウンドがどのように影響を受けるかを簡単に確認できます。さらに、各バンドは色分けされているため、どのフィルターが何を実行しているかがわかります。

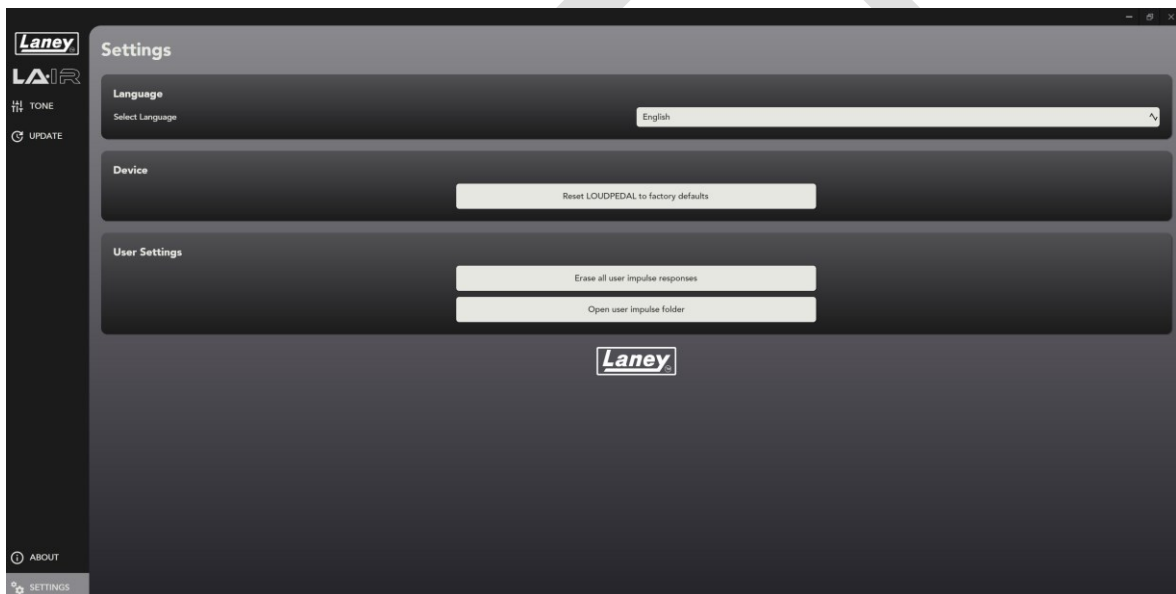
6. バンドノード

グラフには、現在アクティブな各バンドを表す番号付きノードも表示されます。現在の中心周波数とゲインが表示され、ドラッグしてすばやく簡単に変更できます。より正確な変更を行うには、バンドコントロール(4)を使用することをお勧めします。

7. 保存ボタン

これを押すと、EQ(A と B の両方) への未保存の変更が保存され、ペダルに保存されてアプリなしで使用できるようになります。保存されていない変更がある場合は、アプリを閉じると(またはペダルを切断すると)これらの変更が失われることを警告するために表示されます。

設定パネル



言語

LA-IR アプリの言語をお好みの言語に変更します。

デバイスをリセット

これにより、すべての EQ とゲインの変更がリセットされ、IR がデフォルトの Tom Quayle のものに戻ります。これは元に戻すことはできず、デフォルトからのすべての変更は失われます。

ユーザー IRS の消去

アプリとペダルから**すべてのユーザー IR**を削除します。元の.wavファイルを再度インポートしない限り、これらを復元することは不可能なので、この操作を実行するかどうかを確認してください。削除する前にポップアップ警告が表示されます。

ユーザーIRフォルダを開く

インポートしたすべての IR が保存されているフォルダを開きます。



設定例

BCC-LOUDPEDAL-LTQ を使い始める最良の方法は、コントロールを試してお気に入りのサウンドを見つけることです。ただし、まずは試してみるためのトーン設定の例をいくつか示します。

トム・クエールの口調

以下は、LOUDPEDAL-LTQ を使用する際の Tom Quayle の推奨設定です。両方のチャンネルの設定が含まれています。



クリーン



リズム



鉛



飽和

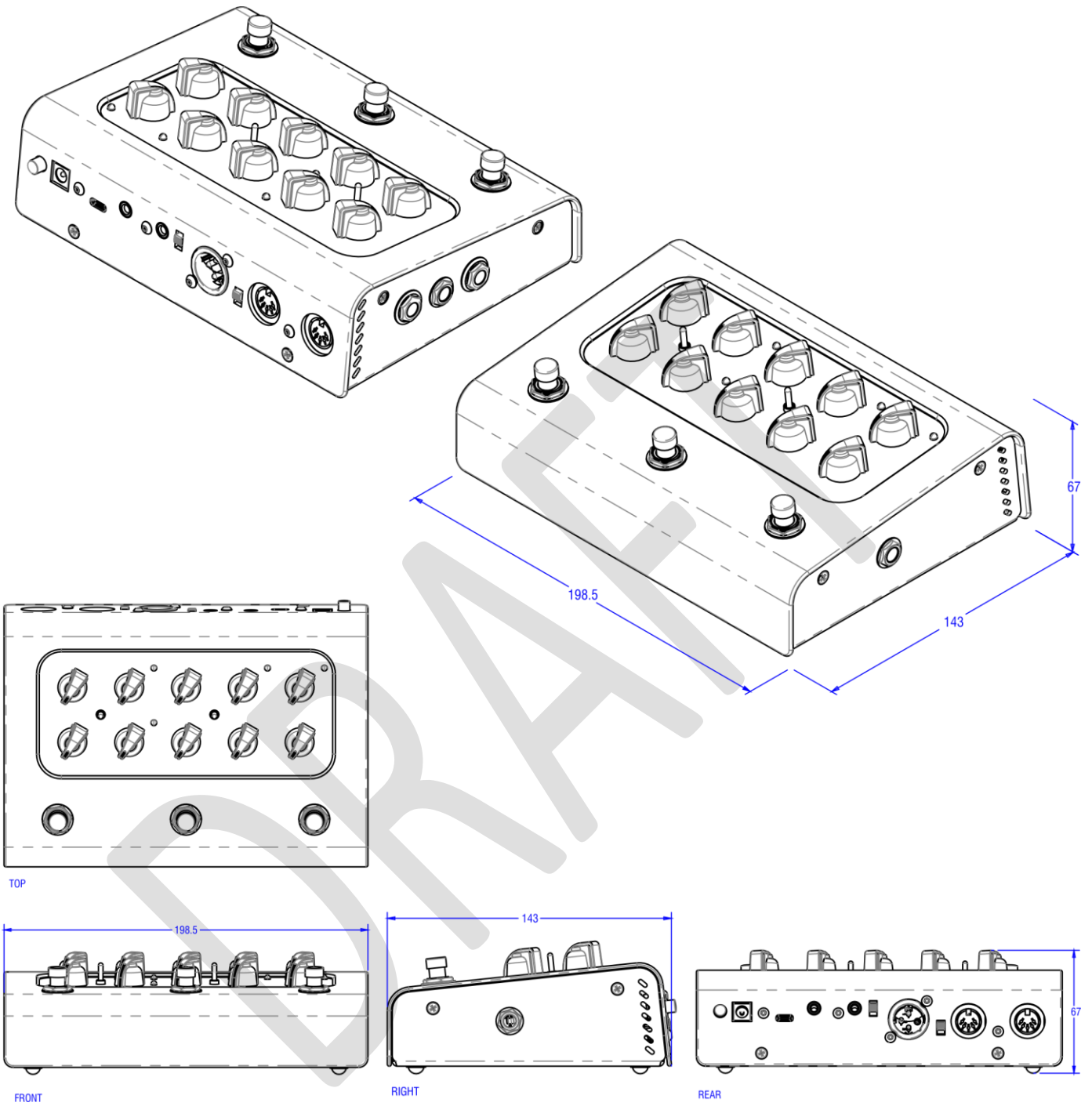


仕様

モデル番号	BCCクラウドペダルLTQ
名前	Laney LIONHEART シリーズ LOUPEPICAL - Tom Quayle コラボレーション
タイプ	ペダルボードギターアンプ
入力インピーダンス	1MΩ
アンプ電源	60W RMS
チャンネル	クリーン&ドライブ (フットスイッチ対応)
イコライザー	ベース、ミドルトレブル (パッシブトーンスタック) 全体のトーンコントロール、ブライツスイッチ (クリーンチャンネル) とトーンキャラクタースイッチ (ドライブチャンネル)
効果	デジタルスプリングラインリバーブ (フットスイッチ対応)、外部 FX ループ
コントロール	プリブースト、クリーンボリューム、クリーンブライツスイッチ、チャンネルスイッチ、ドライブゲイン、ドライブボリューム、ドライブトーンキャラクター (ノーマル、ブライツ、ダーク)、ベース、ミドル、トレブル、リバーブ
指標	ブースト、チャンネル1、チャンネル2、リバーブのLED
入力	6.3mm (1/4") モノラル楽器入力ジャック、6.3mm FX リターンジャック、3.5mm ステレオ補助入力ジャック
出力	6.3mm トランスフォーマー絶縁 FX センド (ライン出力としても使用可能)、3.5mm ステレオヘッドフォンジャック、LA-IR スピーカーエミュレート デジタルインパルス応答を備えたバランスオス XLR DI 出力、高品質の 1x12 および 4x12 オプション。
他の	USB C はクラス準拠のオーディオストリーミング (48kHz、エミュレートおよび非エミュレートのメイン出力) とカスタム IR のロードに使用できます。
電源	安定化24V 2.5A 60W DC PSU付属: センタープラス、2.1 x 5.5 x 12mmコネクタタイプ
標準消費電力	60W
ユニット寸法 (HWD)	67 x 199 x 143mm、 (2.6インチ x 7.8インチ x 5.6インチ)
単位重量	1.7Kg、 (3.7ポンド)
カートン寸法 (高さ×幅×奥行)	125 x 220 x 165mm、 (4.9" x 8.7" x 6.5")、0.005 M3
梱包重量	2.16Kg、 (4.8ポンド)
EAN コード (単一)	5060109458909
マスターカートン寸法 (HWD)	280 x 570 x 210mm、 (11" x 22.4" x 8.3")、0.034 M3 (4個)
マスター出荷カートン重量	2.16Kg、 (4.8ポンド) (4個)
EANコード (配送)	5060109458923 (4個)



寸法 (mm)



安全のための警告

本製品を十分に活用し、トラブルなく長くお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。読み終わった後も、使用される方が参照できるように必ず安全な場所に保管してください。

1) 開梱

製品を開梱する際には、輸送中に発生した損傷の有無を確認してください。万一損傷があった場合は、ユニットを元の箱に戻し、販売店にご相談ください。元の輸送用の箱を保管しておくことをお勧めします。万一、機器に不具合が発生した場合でも、修理発送のための梱包が容易になります。

2) アンプの接続

損傷を避けるために、システムの電源をオン/オフするための手順を決めることをお勧めします。すべての機器の接続が完了した状態で、ソース機器、ミキサー、エフェクト・プロセッサなどの電源を入れた後に、アンプの電源を入れます。手順を守らないと、電源のオン/オフ時に大きなノイズが発生し、スピーカーに損傷を与える可能性があります。レベルコントロールが最小に設定されていることを確認し、アンプの電源を最後にオンにしてください。すべてのシステム部品が安定するまで待ちます (通常は数秒)。同様に、システムの電源を切るときは、必ずアンプのレベル・コントロールを下げてから、最初に電源を切ってください。

3) ケーブル: アンプからスピーカーへの接続にシールドケーブルやマイクケーブルを使用しないでください。アンプの負荷を十分に処理できず、システム全体に損傷を与える可能性があります。それ以外の場所では、高品質のシールドケーブルを使用してください。

4) 修理: 製品の修理は販売代理店に依頼し、ユーザーで行わないでください。

5) 機器に表示されるすべての警告に注意してください。

6) 機器に表示されるすべての指示に従ってください。

7) 機器を水の近くで使用しないでください。

8) 乾いた布で拭いてください。

9) 換気口を塞がず、メーカーの指示に従った場所に設置してください。

10) ラジエーター、ストーブ、その他の熱を発生する装置 (アンプを含む) など、熱源の近くに機器を設置しないでください。

11) クラス

機器の装置は、ブレーカーのある主電源コンセントに接続する必要があります。分極プラグ、接地タイプのプラグを改造しないでください。分極プラグには 2 つのブレードがあり、一方のブレードの幅が他方よりも広がっています。接地タイプのプラグには、2 つのブレードと接地端子があります。幅広のブレードまたは接地端子は、安全のために用意されています。付属のプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事会社に相談してください。

12) 電源コードを踏んだり、挟んだりしないように保護してください。特に、プラグ、コンセント、および装置から出ている部分に注意してください。

13) メーカーが提供する付属品のみを使用してください。

14) カート、スタンド、三脚、ブラケット、またはテーブルは、メーカーが指定したものか、装置と一緒に販売されたもののみを使用してください。カートを使用する場合は、転倒による負傷に注意してください。

15) ユーザーは、電源プラグ、電源スイッチに簡単にアクセス、操作できるようにする必要があります。雷が発生したとき、または長期間使用しない場合は、この製品の電源プラグを抜いてください。

16) すべてのサービスは販売代理店に依頼してください。電源コードまたはプラグが損傷した、液体をこぼした、装置に物を落とした、装置を落とした、装置が雨や湿気にさらされた、動作しないなどの場合は、修理が必要です。

17) アースピンは絶対に折らないでください。ユニットの電源コネクタに隣接して表示されている仕様の電源にのみ接続してください。

18) この製品を装置ラックに取り付ける場合は、背面サポートを使用する必要があります。

19) 機器を水にさらされないようにし、花瓶などの液体を含む物体を機器の上に置かないように注意してください。

20) 非常に高い騒音レベルにさらされると、難聴を引き起こす可能性があります。騒音による難聴のかかりやすさは個人によってかなり異なりますが、強い騒音に長い時間さらされると、ほぼすべての人がある程度の聴力を失います。米国政府の労働安全衛生局 (OSHA) は、許容騒音レベルを指定しています。暴露がこの制限を超えた場合、難聴を防ぐために、耳栓または聴覚保護具で保護することをお勧めします。

21) アンプのキャビネットに傾斜させる機構が備わっているため、注意して使用してください。アンプは容易に傾いてしまうため、水平で安定した面でのみ使用してください。アンプを机、テーブル、棚、またはその他の不安定な場所で操作しないでください。

22) 製品および製品マニュアルで使用されている安全に関するシンボルは次のとおりです。

Duration Per Day in Hours	Sound Level dBA, slow response
8	90
6	92
4	95
3	97
2	100
1 1/2	102
1	105
1/2	110
1/4 ou inférieur	115



 CAUTION:	<p>感電するリスクがあります。エンクロージャ内の絶縁されていない「危険な電圧」の存在を警告しています。</p>
 WARNING:	<p>製品に付属の資料に重要な操作およびメンテナンス (サービス) の指示があることを警告しています。</p>
	<p>本製品はアメリカ合衆国のFCC規則第15部に準拠しており、Class B digital deviceに認定されています。</p> <p>本製品を使用すると高周波を発信する場合があります、設置場所および使用方法によっては、無線送信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ラジオやテレビの受信に干渉する場合は、環境に応じて使用するかどうかの判断、または下記の改善策をご検討ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受信アンテナの方向や位置を変える ● 装置と受信機の距離を離す ● 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続する ● 販売店、またはテレビ・ラジオの技術者に相談する
	<p>この製品は、次の欧州規制、指令および規則の要件に準拠しています: CE マーク (93/68/EEC)、低電圧 (2014/35/EU)、EMC (2014/30/EU)、RoHS (2011/65) /EU)、ErP (2009/125/EU)</p> <p>簡素化された EU 適合宣言書</p> <p>EU 適合宣言の全文は、次のインターネット アドレスで入手できます。</p> <p>http://support.laney.co.uk/approvals</p>
	<p>上記の宣言の目的は、2016 年の電気機器 (安全) 規則、2016 年の電磁適合性規則、2012 年の電気および電子機器規則における特定の有害物質の使用制限、エネルギーのためのエコデザインの関連する法的要件、関連製品およびエネルギー情報 (修正、適用 2012年) に準拠しています。</p>
	<p>環境への影響を軽減するために、通常の家廃棄物と一緒に廃棄できません。国や自治体で適用される法律・条例に従って、承認されたリサイクルセンターに持ち込む必要があります。</p>



BLACK COUNTRY CUSTOMS

HANDCRAFTED IN THE UK



STEELPARK ROAD, COOMBSWOOD BUSINESS PARK WEST, HALESOWEN, B62 8HD. UK
FOR THE LATEST INFORMATION PLEASE VISIT WWW.LANEY.CO.UK

IN THE INTEREST OF CONTINUED DEVELOPMENT, LANEY RESERVES THE RIGHT TO AMEND PRODUCT SPECIFICATION WITHOUT PRIOR NOTIFICATION.

V1.0